

今日のトピック インドの経済・市場動向 (2018年10月後半) インド株式は下落基調、通貨は下落一服

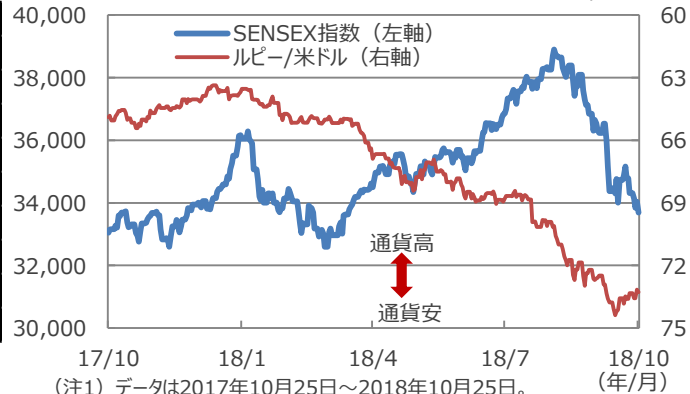
【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	10月25日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.53	0.6	▲1.3	▲6.2	▲12.5
ルピー/米ドル (ルピー)	73.28	▲0.4	0.8	9.5	12.9
金利					
政策金利 (%)	6.50	0.00	0.00	0.50	0.50
10年国債利回り (%)	7.87	▲0.0	▲0.3	0.1	1.1
株式指数					
SENSEX (ポイント)	33,690.09	▲3.1	▲8.1	▲2.4	2.0

(注) データは2018年10月25日基準。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(ポイント) 【インドの株式と通貨】 (ルピー/米ドル)



(注1) データは2017年10月25日～2018年10月25日。

(注2) ルピー/米ドルは逆目盛。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント1 株価は下落継続

世界株安の影響を受ける

- インドの株式市場は、下落基調が続いています。主要株式指数のSENSEXは8月28日に過去最高値をつけた後、調整局面に入り、10月25日には約半年ぶりの水準まで下げ、この間の下落率は▲13%となりました。9月以降インドルピー安の加速に伴う資金流出懸念や、インドの大手ノンバンクがデフォルト（債務不履行）を起こしたことに伴う信用不安の高まりで下落していたところに、10月に米株式相場が急落したことを受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、幅広い銘柄に売りが出ました。

ポイント2 インドルピーは下落一服

足元の原油安などがルピーをサポート

- 通貨インドルピーは、対米ドルで一本調子で下落基調で推移してきましたが、10月9日に過去最安値をつけてからやや反発し、足元ではルピー安が一服しています。10月初旬以降の原油安が原油輸入国であるインドの通貨をサポートしているとみられることや、このところ人民元の値動きが安定していることもアジア通貨を落ち着かせる要因になっていると思われます。

今後の展開 株価は当面不安定ながら中長期的には持ち直しへ

- インド株式市場は、世界的な株安が続くなかで当面不安定な相場展開が見込まれますが、インド経済の高成長を背景にした企業収益拡大により中長期的には持ち直すことが期待されます。ブルームバーグによれば、18年の予想EPS（1株当たり利益）の伸びは前年比19%、19年は22%の伸びが見込まれています。
- 現在進行中のインド企業の7-9月期業績発表は概ね良好です。特に金融や消費関連は予想を上回る決算が多く、国内経済の堅調さが裏付けられています。

ここも
チェック! 2018年10月17日 モディ首相の続投なるか?! インド『総選挙』を予習
2018年10月11日 インドの経済・市場動向 (2018年10月前半)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。